



進路通信

みはるかす

第 7 号

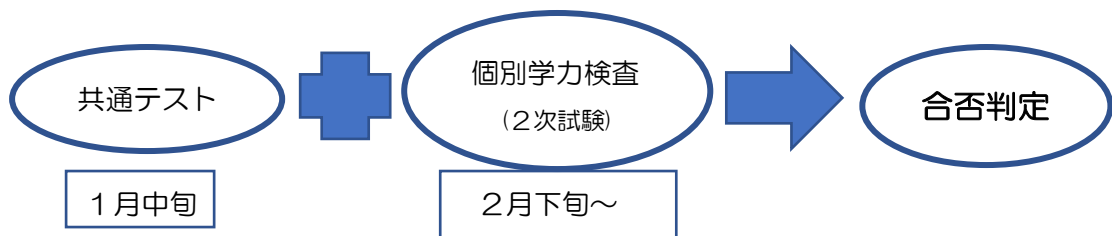
2020年10月2日発行

前南進路指導部

1 大学共通テスト願書受付始まる

大学入試センター試験を衣替えし、来年1月に初めて実施される大学入学共通テストの出願が9月28日から始まりました。例年並みの50数万人が受験する見込みで、現役生は高校から一括して出願します。

国公立大学入試の仕組み



個別試験の出願は共通テストの結果をみてから行いますが、自分の得点が何点だったかを正確に知ることができるのは、5月頃になります。したがって、国公立大を受験する生徒は自己採点を正確に行うことが必須となります。国公立大学の出願期間は、1月25日～2月5日です。思うように共通テストで得点できなかった場合には、出願校を変更しなければならないので、事前に複数の候補を挙げておく必要があります。

国公立大学は何校まで受験できるか？

2月下旬から始まる2次試験は「前期日程」「中期日程」「後期日程」にそれぞれ1校ずつ出願できます。出願時期は1月25日～2月5日のみで、前期試験の結果を見てから後期日程に出願することはできません。受験生は「前期日程」「後期日程」で同じ大学・学部を2回受験することも可能です。別々の大学・学部を受験することも可能です。ただし、大学によっては「中期日程」「後期日程」を設定していないところもあります。募集人数は「前期日程」が8：2の割合が多く、また「前期」で合格し入学手続きを行うと「中期」「後期」の合格対象から外れるので、必然的に「前期日程」で第1志望を受験することになります。また新潟県立大のように「独自日程」を設けている大学もあるので、私立大の日程と併せて受験プランを練る必要があります。

私立大学入試の仕組み

私立大学の入試は主に2月初旬～中旬にかけてです。文系は国語・英語・地歴公民、理系は数学・理科・英語の3教科が主流のパターンです。国公立と違い、日程も方式も各大学によって様々なので、入念な下調べが必要となります。また受験料は1校当たり約35,000円かかります（共

共通テスト利用入試の場合は約 15,000 円)。共通テスト利用方式は、大学独自の試験を行わず、共通テストの結果だけで合否を決定するケースが一般的なので、大学に赴くことなく私立大学を受験することが可能です。ただし、この方式の募集人数は非常に少ないので高倍率となります。また共通テスト前に出願を済ませておかなければならない私立大学が大半なので、利用する生徒は出願を忘れずに行いましょう。

共通テストの時間割

☆1日目☆

出題教科	科目等		試験時間
地歴公民	「世界史 A」「世界史 B」 「日本史 A」「日本史 B」 「地理 A」「地理 B」「現代社会」 「倫理」「政治・経済」	2 科目選択	9:30~11:40
	「倫理、政治・経済」	1 科目選択	10:40~11:40
国語			13:00~14:20
外国語	英語	リーディング	15:10~16:30
	英語	リスニング	17:10~18:10

☆2日目☆

出題教科	科目等		試験時間
理科①	「生物基礎」「化学基礎」 「物理基礎」「地学基礎」		9:30~10:30
数学①	「数学 I」「数学 I A」		11:20~12:30
数学②	「数学 II」「数学 II B」		13:50~14:50
理科②	「生物」「化学」	2 科目選択	15:40~17:50
	「物理」「地学」	1 科目選択	16:50~17:50

2 総合型選抜(旧 AO 入試)試験始まる

1, 2年生必見!

総合型選抜入試が始まりました。この入試はエントリーシートなどの提出書類に加え、面接や小論文、プレゼンテーションなどが課されます。「高い学習意欲」「学びへの明確な目的意識」が選抜基準として重んじられます。出願時に受験生自身が作成して提出する書類が多いことも特徴です。もうひとつの入試の形態が学校推薦選抜です。「公募制」と「指定校制」の2タイプがあります。「公募制」は、大学の出願条件をクリアし、学校長の推薦があれば受験できる選抜です。「指定校制」は大学が指定した高校の生徒を対象とする選抜で、私立大学が中心で国公立大学では行われていません。こちらでも学校長の推薦が必要になります。本校に来る指定校推薦の内訳は、毎年配布される『進路の手引き』の中に条件と共に載っています。また「公募制」「指定校制」ともに大学の出願条件のほかに校内基準をクリアする必要があります。1, 2年生でこの制度を利用したい生徒は確認し、かつ評定をあげる努力をしていくことが大切です。